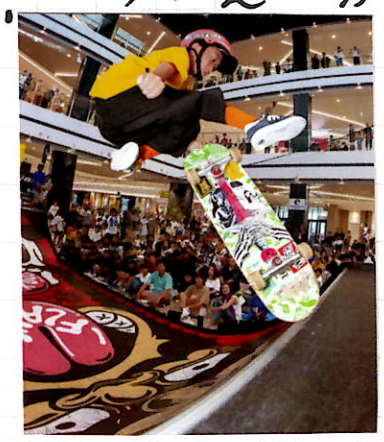
スケボーは カッコイイ だけじゃない

心と体を育てる

東京五輪から正式種目となったスケートボード。一九四十年代にアメリカで生まれたスケボー、現在の競技者人口は、五千万人をこえるほどとなった。日本では、東京五輪をきっかけに始めたスケーターも多い。なぜスケボーの人気があるのか、そこには、かっこいいだけじゃない理由がある。その一つは、自由な所だ。すべる場所や時間、スタイルなど、すべて自分で選択することができる。自らが考え、行動することで学ぶ力がつき、成功や失敗をくり返しながら成長していく。試行錯誤していく中で、枠にとらわれない発想ができるようになり、次第に唯一無二の存在になっていく。国や世代、性別を越えて喜びを共有する仲間ができるのも魅力の一つである。多様性を尊重するアクティビティである。

スケボーは自分との勝負

スケボーは、上手になればなるほど恐怖心との戦いになる。痛いからやめる、こわいからやめるなど、やらない理由は簡単。しかし、恐怖心を克服する『自分越え』を経験することで精神力も養われてあきらめない心が作られる。スケボーは、むずかしいから楽しい。一つの技が出来るまでに時間がかかり、失敗して痛いこともある。でも、日々困難と向き合う中で、初めて技が成功した時の喜びはとても大きい。努力し続けていく限り、成功する快感や喜びは、一生味わうことができるのがスケボーの楽しさである。自分との戦いの中で、共にはげまし合い、応援し合える仲間がいるからこそ、困難を乗りこえ楽しくスケボーがやれているのだと思う。



スケートボードの種類紹介

①ショートボード
両端が反っていて、トリック(技)にむいている。オリンピック競技に使用される。一番人気。

②クルーザー
音が静かでよく走る。スピードが出やすく安定感があり、移動手段にオススメ。

③ロングボード
板が長く安定感があり、スピードを出しやすい。サーフィンやスノボーのようにターンが楽しい。

④サーフスケート
前のトラックが特別な作りで、左右にグニグニ曲がる。サーフィンの練習にオススメ。

編集後記

この新聞を読んで、一人でもたくさんの人にスケボーのことを知ってもらえたらうれしいです。来年一月に、小学生の日本一を決める全国大会があります。自分との戦いに勝ってカッコイイすべりをして、たくさんの仲間と最高の時間をすごしたいです。そして、いつかオリンピックに出場して金メダルを取りたいです。

FlakeCupとは

フレイクカップとは、日本最大級のスケートボードコンテスト。10年以上前から毎年開催され、2024年は、全国9箇所、総エントリー数は、1200名。キッズスケーターの登竜門と言われている。五輪で有名な堀米雄斗・四十住さくら選手も、小学生時代にはFLAKECUPで活躍していた。

発行者
豊橋市立 天伯小学校五年
ふりがな らちまあら
良知愛徠

用紙提供：豊橋中日会